

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年4月27日

所属・職名	国際教養学部 専任講師	氏名	常見陽平
研究課題	ウェブメディアにおけるフリーランス労働者の研究		
研究キーワード	人的資源管理論,フリーランス,メディア論	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2019年度においては、当該研究課題に関して理論構築を中心に行った。なかでも「雇用類似の働き方」「非雇用」について、内閣府やJILPTのレポートなどをもとに実態を把握した。さらには、関連するテーマとして「ギグ・エコノミー」および「ギグ・ワーカー」に関する理解を深めた。なかでも、2019年10月に日本で発足したウーバーイーツユニオンに関して、個人事業主の、労働組合法上の労働者性に関する事例として捉え、ケーススタディを行った。フリーランスで働く人の現状や、企業にとっての位置づけに関しては、研究を十分にすすめることができた。</p> <p>しかし、フリーランスで働く人の事例研究に関しては十分に時間をかけることができず、停滞した。結果として、論文の執筆、発表を年度内に行うことができなかった。</p> <p>とはいえ、理論の構築、事例研究はすすんでいる。これを研究成果としてアウトプットできるよう、尽力したい。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>『僕たちは育児のモヤモヤをもっと語っていいと思う』自由国民社</p> <p>「休ませる国」から「休む国へ」「第3の時間」がイノベーション生む『Journalism 2019.8 no.351』朝日新聞社 12頁-20頁</p> <p>3. 主な経費</p> <p>快適に資料の閲覧、論文の執筆を行うために、31.5インチのディスプレイを購入した。また、スキヤナの老朽化のために、1台追加で購入した。その他、関連書籍や文房具を購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【その他の活動】</p> <p>「今後の若年雇用に関する検討会」委員（厚生労働省）</p> <p>「いしかわUIターン応援団長」（石川県商工労働部 ※2016年より継続）</p> <p style="text-align: right;">(本文は1ページ以内にまとめること)</p>			